2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	東医治療学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期	教室名	502教室
担 当 教 員	花原　容成	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

主要症候に対する鍼灸治療の流れ(理法方穴術)を学ぶ。1年生では東医基礎を、2年生の前期では診断学を学び、それらを元に東洋医学・西洋医学の両面から各症状別に分類し学ぶ。

《成績評価の方法と基準》

1. 定期試験:100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

教科書:『東洋医学臨床論 〈はりきゅう編〉』(医道の日本社)

《授業外における学習方法》

予習:講義予定部分の教科書の確認。
復習:講義箇所に関する教科書の熟読・ノート整理。
共通:授業内で紹介した古典や専門書の通読。

《履修に当たっての留意点》

1年次の東洋医学系の知識をフル活用し行う授業になります。復習を交えながら行います。この教科で手を抜くと、鍼灸師の資格は取れても鍼灸師にはなれません。がんばっていきましょう。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	治療総論について概説できる。	教科書	シラバス確認。 講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	治療総論		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	頭痛の分類・鑑別・病証について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	頭痛		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	顔面痛の分類・鑑別・病証について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	顔面痛		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	顔面麻痺の分類・鑑別・病証について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	顔面麻痺		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	歯痛の分類・鑑別・病証について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	歯痛		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	眼精疲労の分類・鑑別・病証について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	眼精疲労		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	鼻閉・鼻汁の分類・鑑別・病証について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	鼻閉・鼻汁		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	脱毛の分類・鑑別・病証について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	脱毛		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	めまい　耳鳴り　難聴の分類・鑑別・病証について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	めまい　耳鳴り　難聴		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	咳嗽の分類・鑑別・病証について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	咳嗽		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	喘息　胸痛の分類・鑑別・病証について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	喘息　胸痛		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	腹痛の分類・鑑別・病証について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	腹痛		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	悪心　嘔吐の分類・鑑別・病証について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	悪心　嘔吐		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	便秘　下痢の分類・鑑別・病証について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	便秘　下痢		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	月経異常の分類・鑑別・病証について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	月経異常		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	東医治療学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期	教室名	502教室
担 当 教 員	花原　容成	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

主要症候に対する鍼灸治療の流れ(理法方穴術)を学ぶ。1年生では東医基礎を、2年生の前期では診断学を学び、それらを元に東洋医学・西洋医学の両面から各症状別に分類し学ぶ。

《成績評価の方法と基準》

1. 定期試験:100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

教科書:『東洋医学臨床論 〈はりきゅう編〉』(医道の日本社)

《授業外における学習方法》

予習:講義予定部分の教科書の確認。
復習:講義箇所に関する教科書の熟読・ノート整理。
共通:授業内で紹介した古典や専門書の通読。

《履修に当たっての留意点》

予習:講義予定部分の教科書の確認。 復習:講義箇所に関する教科書の熟読・ノート整理。 共通:授業内で紹介した古典や専門書の通読。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	排尿障害、EDの分類・鑑別・病証について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	排尿障害、ED		
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	肩こりの分類・鑑別・病証について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	肩こり		
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	頚肩腕痛、肩関節痛、上肢痛の分類・鑑別・病証について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	頚肩腕痛、肩関節痛、上肢痛		
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	腰下肢痛、膝痛の分類・鑑別・病証について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	腰下肢痛、膝痛		
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動麻痺の分類・鑑別・病証について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	運動麻痺		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	高血圧、低血圧の分類・鑑別・病証について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	高血圧、低血圧		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	食欲不振、肥満の分類・鑑別・病証について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	食欲不振、肥満		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	発熱、のぼせと冷えの分類・鑑別・病証について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	発熱、のぼせと冷え		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	不眠の分類・鑑別・病証について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	不眠		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	疲労と倦怠の分類・鑑別・病証について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	疲労と倦怠		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	発疹の分類・鑑別・病証について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	発疹		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児の症状の分類・鑑別・病証について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	小児の症状		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツ医学における鍼灸療法について概説できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	スポーツ医学における鍼灸療法		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	老年医学における鍼灸療法について概説できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	老年医学における鍼灸療法		
第30回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	後期で学んだ東洋医学について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	総括・評価		